



日高山脈博物館だより

HIDAKA MOUNTAINS MUSEUM NEWSLETTER

通算 第20号 2013.6.

GW企画「宝石すくい」開催しました！

宝石すくいは恒例になりましたが、宝石を変えてみました。

4月27～29日と、5月3日～6日に、連休の特別企画として、宝石すくいを開催しました。

この時期に恒例となりましたが、開催期間中の入館者は、入館料半額企画の効果もあったのでしょうか、500名を大きく越えました。さらに、5月3日には、「日高「春」の味覚フェア・北海道オールドカーフェスタ」も開催され、期間を通して盛況でした。

なお、宝石すくいに用いた宝石ですが、こちらは今回、いくつか「穴」を穿たれたものが混じっておりました。実は、この穴に、金具を差込み、金属用の接着剤を流し入れると、簡単にアクセサリーになるものでした。お手元に、当館の宝石すくいですくった宝石がありましたら、ぜひチャレンジしてみてください。



宝石すくいに挑む参加者



穴あき宝石の一例

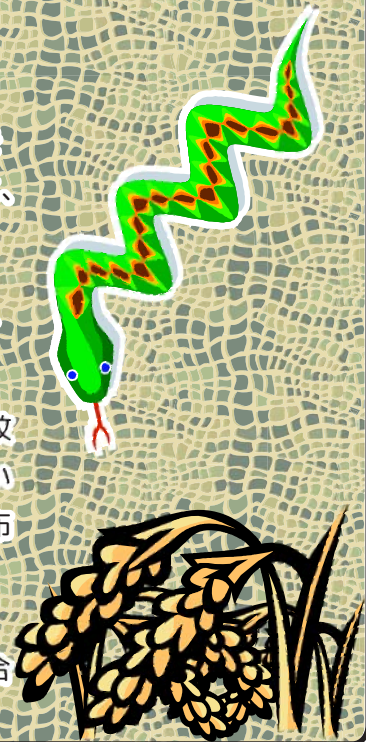
蛇紋岩 ～ 今年の干支の石 ～ ③

今回は、蛇紋岩やそのもとのかんらん岩を通る水には、MgやCaが多いことを説明しました。お肌がスベスベになるだけでなく、これは植物にも影響を与えます。

Mgは、植物に含まれる葉緑体中のクロロフィル（光合成を行うもの）の働きを活発にすると言われていています。Caも、細胞の様々な調節に欠かせません。このように、MgやCaが適度に多いと、植物は活性化するのですが、蛇紋岩地帯では、これらが多いので、農作物にもある影響を及ぼします。

蛇紋岩地帯の兵庫県但馬地域では、「蛇紋岩米」という米が栽培され、味もよくブランド化されています。これも蛇紋岩から、MgやCa他の成分が適度に供給されるためでしょう。日高地域にも、蛇紋岩は多く存在します。日高のお米も、一部は蛇紋岩の影響を受けているのかもしれませんが。また、日高管内の様似町では、ウニがおいしいことにも関わるとも言われています。ウニがおいしく育つためには、エサの昆布が重要なのですが、どうやら、様似沿岸では、昆布の育成にも、かんらん岩由来のMgやCaが影響している可能性があるようです。

このように、蛇紋岩やかんらん岩は、人間にもさまざまな恵みを与えてくれる場合もあります。



日高山脈博物館のホームページ上でも掲載しています。こちらでは、写真などがカラーとなっています。ぜひご利用下さい。…⇒ ホームページ (<http://www.town.hidaka.hokkaido.jp/hmc/>) の新着情報からどうぞ。